

科目名	保育相談支援		担当教員	高橋 あ い		
			担当形態	単独		
テキスト	指定なし（授業でその都度、資料を配布します）	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育相談支援の意義と原則について理解する。 ・保育所など児童福祉施設における保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。 ・保育相談支援における職員同士の連携、他職種連携の方法を理解する。 ・保護者とコミュニケーションをとるための基礎能力を習得する。 ・自己理解を深め、保育者としての自分自身のあり方を考える。 <p>■授業の概要</p> <p>保育者が行う相談支援の基礎知識や基本姿勢を身につけることを目標とする事例を使った実践的なワークを通して、他者や自己への理解を深め、保育者としての効果的な相談について学ぶ。また、相談支援における保育者の専門性や役割を理解し、職員同士の連携や他職種連携の方法について学ぶ。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 授業内容・成績評価に関するオリエンテーション 保育相談支援の意義と、保育相談支援が求められる社会的背景</p> <p>第2回 相談支援における守秘義務</p> <p>第3回 保育におけるカウンセリングマインド 受容・共感・傾聴のロールプレイ</p> <p>第4回 子どもの最善の利益の尊重、権利の擁護とは</p> <p>第5回 保育所における相談支援の実際</p> <p>第6回 職員同士の情報共有と連携 相談支援における保育者の専門性と他職種連携</p> <p>第7回 保育所の特性を生かした相談支援 子どもの成長の喜びの共有、保護者の養育力向上に資する支援</p> <p>第8回 連絡ノートの記載におけるポイントと留意事項 模擬事例を使用したワーク</p> <p>第9回 お便り・掲示・保育参加・保護者会における保育相談支援について グループで調べ学習をしながら効果的な方法について検討する</p> <p>第10回 グループ発表 作成したお便り・掲示について発表する</p> <p>第11回 グループ発表 作成した保育参加や保護者会の計画用紙を基に発表する</p> <p>第12回 保育所における特別な支援を要する家庭への支援</p> <p>第13回 保育所以外の児童福祉施設における保育相談支援</p> <p>第14回 住民や行政、自助グループなど地域における相談支援</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>■準備学習</p> <p>必要に応じて事前に資料や課題を配布するため、指示があった場合には、それに取り組んだ上で授業に臨むこと。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 — 40% ・授業内課題、授業への参加姿勢 — 60% 						
参考文献	授業で随時提示する。	特記事項	特になし。			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	幼				
		保	保育の内容・方法に関する科目			